

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
栄養教育論	阿部 稚里	講義	2	栄養士必修	1, 2, 3	1, 2, 3, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	<p>栄養教育とは、対象とする個人や集団の Quality of Life (QOL) を高めるために、教育手段を用いて好ましい食行動の実践と習慣化を促すために具体的に働きかけることである。そこで本講義では、対象者の食生活の問題点や環境を正しく理解し、健康や QOL の向上につながる主体的な実践力形成の支援に必要な栄養教育の理論と方法を学び、方法論を提案できる知識を得ることを目的とする。</p>						
到達目標	<p>①栄養教育が健康政策の中心的な課題であることを説明できる。          ②栄養教育に必要な行動科学理論やカウンセリング論を説明できる。          ③健康や QOL の向上を目標とする栄養教育を提案することができる。</p>						
回	学習内容						
1	オリエンテーション、栄養教育の概念						
2	栄養教育・栄養指導の歴史、栄養教育の対象と機会						
3	栄養教育の目的・目標、最近の栄養教育に関する法的根拠						
4	国民健康・栄養調査からみた健康づくり対策と栄養教育の提案						
5	健康日本 21 からみた健康づくり対策と栄養教育の提案						
6	行動科学理論の概要						
7	行動科学理論：刺激-反応理論等						
8	行動科学理論とモデル：プリシード・プロシードモデル等						
9	栄養カウンセリング・コーチング						
10	行動科学理論の栄養教育への応用例						
11	栄養教育マネジメントの概要						
12	栄養アセスメントの種類とその特徴						
13	栄養教育の目標設定、栄養教育計画作成の基本的な手順						
14	学習形態の種類とその特徴						
15	栄養教育の実施・評価方法、テストと講評						
予習内容 復習内容	<p>予習：該当箇所の教科書を事前に読み、重要事項をまとめる。          復習：学んだ内容について、栄養士としてのアプローチ方法を考察する。</p>						
教科書	「栄養教育論—栄養の指導—」 関口紀子、蕨迫栄美子編 学建書院						
成績評価	毎回の小レポート 15%、3 回のレポート 60% (20%×3 回)、1 回のテスト 25% 5 回を超える欠席は評価対象外となる。						
実務経験							
その他 特記事項	栄養士の職務と教科内容の関わりを意識しながら学んでください。						